民主党の政策について

坂本 好教 議員

問 子供手当てについて、支給の方法、対象者は何人で、総額はいくらか。

福祉事務所長 支給月が6月、10月、2月及び次の年度の6月で、22年度は10ヶ月分を予算化しており、対象人員は、7，017人を見込み、9億1，221万円を予算化している。

問 農家の戸別所得補償方式について、概要は。

市長 水田利活用持久力向上事業、今までの転作作物に対する交付金に相当する部分と、米の戸別所得補償モデル事業、米生産における赤字部分の補填が内容となっている。

問 国の農林予算の昨年比は。

副市長 全体では前年対比95・8％の2兆4，517億円。公共事業分は前年対比65・9％で、その中でも土地改良事業等を含む農業農村整備の予算は前年対比36・9％に減額された。

スペースに問題のある協働推進部

機構改革について

問 副市長2人制で市役所の機構はどうなるか。

市長 副市長を2人にする事を約束しその内の1人は女性副市長の登用である。副市長を2人にするということは組織のあり方として部長制をどのようにするか平成22年度に機構改革を見直す中で検討したい。

問 サンコアの協働推進部はつめこみすぎだ。

総務課長 サンコア1階のフロアは非常に混み合っており、場所的には検討課題であると認識している。

問 職員の研修は民間や自衛隊等に出せないか。

市長公室長 今いろんな研修先のリストアップをしており、外に出す研修をしていきたいと思っている。

教育行政の過去、現在、未来を問う

山下 元生 議員

問 城戸教育長の就任時の筑後市の教育の実情は。

教育長 学校管理職と教員組合との対立が強く、教育施策を校長が指示すると従来の慣行と違うといって拒否反対し非協力的であった。服装は短パン・ジーパン・サンダル等で臨み、入学式・卒業式では国旗は掲揚せず国家斉唱も十分でなく、道徳教育を戦前の修身と同一視し、他の教育活動に振り替えていた。

問 教育長はそうした状態でどのような教育構想を描き、対応されたか。

教育長 学力向上に学習規律の徹底を位置づけ、授業公開と参観、講評を行い道徳研修会への積極参加、服装の端正化、国旗、国歌の完全実施など成果を上げた。

問 筑後市の教育の未来構想をどう描いているか。

教育長 人事・業績評価など学校評価システムを充実させてマネージメントを確たるものとする。小中高の連携・学校現場と教育委員会の連携の強化を図る。

問 現在入学式・卒業式での国旗、国歌の取扱いは。

学校教育課長 卒業式は学校教育の最後の場で、整然と厳粛に、国旗は式場正面と掲揚台に揚げ、国歌は大きな声で斉唱するよう指示し実施されている。

問 筑後市の児童・生徒の学力は県・国の平均を上回っていて、体力では劣っていると聞くがその対応策は。

学校教育課長 体力向上には基礎体力向上教員を1名雇用し、各小学校を巡回して、走る、跳ぶ、投げる等の基礎基本の指導を行って体力向上をめざしていく。

入学式風景（羽犬塚小学校）